

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	当院における大腸癌手術症例の治療成績と予後に関する後方視的研究 (B21-071)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部 下部消化管外科学 教授 内藤 剛
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	大腸癌に対する腹腔鏡下手術が日本で行われるようになって約 30 年が経過しました。近年は大腸癌全体に対する腹腔鏡下手術の割合は約 70%前後となっています。腹腔鏡下手術の技術も安定し、ロボット支援下腹腔鏡下手術も多数行われている昨今において、大腸癌に対する腹腔鏡下手術の成績と長期予後を評価することは、大腸癌に対する現状の治療の有用性を評価する上で重要と考えられます。そこで、過去の診療記録の情報を分析し、大腸癌に対する手術治療の成績と予後を検討することを目的として研究を行います。
調査データ 該当期間	2011 年 1 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2011 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に大腸癌に対して治療を受けた方。大腸癌に対する手術治療と非手術治療の比較のため、非手術治療を受けた方も対象としています。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報:2011 年 1 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、画像データ、病理結果を利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。将来新たな研究において二次利用を行う際には、新たな研究計画について倫理委員会の承認を得る予定です。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、外科学医局研究費を使用します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただしすでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位:医学部 下部消化管外科学 担当者:田中 俊道 (タナカ トシミチ・助教) 電 話:042-778-9974
備 考	